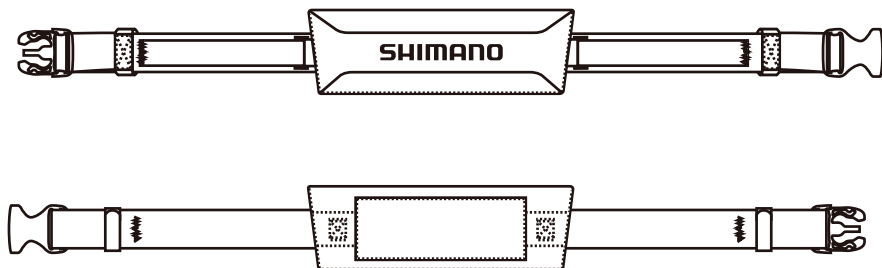


国土交通省型式承認品 小型船舶用救命胴衣（膨脹式）TYPE A

Owner's Manual (取扱説明書)



VF-053U(TK-9320RS 型)
膨脹式ライフジャケット（水感知機能付）
V90000(HR-6F) 充気装置

このたびは、当製品「小型船舶用救命胴衣（膨脹式）」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
もしもの落水時に膨脹式ライフジャケットが正常に機能するためには、正しい知識、メンテナンスが必要です。

ご使用の前に必ずお読みください

SHIMANO

INDEX 目次

1. 安全上のご注意	P.1/P2	8. 保守点検	P.6
2. 商品の概要と構造	P.3	9. 気室の収納方法	P.7
3. 着用方法	P.3	10. 整備要綱	P.8
4. 作動方法	P.4	11. 保管方法	P.8
5. 炭酸ガスポンペ、ボビン (スプール)の交換方法 / 充気装置のインジケータ説明	P.5	12. 製品の買い替え・修理 / 交換の目安	P.8
6. 補助送気管による充気・排気	P.6	13. 救命胴衣について	P.9
7. 自主点検	P.6	14. 自主点検チェックリスト 保証書	P.10 P.11

1. 安全上のご注意

本書に示した注意事項は、製品を正しく安全にご使用していただき、着用者や他の方々への危害を未然に防止するためのものです。よくお読みになってこれらの注意事項を必ずお守りください。

本書では正しい取扱いに関する必要な事項を下記の4種類に分けて表示しております。

	記載された注意事項を守らないと、重大事故が発生する確率が（人身に過酷な損害や死をもたらす危険の発生率が）極めて高いもの。
	記載された注意事項を守らないと、重大事故が発生する（人身に過酷な損害や死をもたらす危険の発生する）可能性があるもの。
	記載された注意事項を守らないと、人身に中程度または軽度の障害をもたらす恐れのあるもの。
	記載された注意事項を守らないと、物的損害に結びつくもの。記載された注意事項を守らないと、救命衣を損傷したり、救命衣の耐久性を著しく短くする恐れのあるもの。あるいは法令違反になるもの。



危険

- ・充気装置を作動させた場合は、そのまま使用しないでください。
- ・充気装置を一度作動させると、炭酸ガスポンペ内のガスがなくなりそのままでは再使用できません。
- ・一度膨脹させた場合、必ず当製品専用の交換パーツ BP-200U を購入し、交換してください。炭酸ガスポンペ充填量の異なるポンペを使用されると、気室が破損して使用できなくなったり、必要な浮力を確保することができません。
- ・適用サイズ以外の方は着用しないでください（ウエスト回り寸法 70 ～ 100cm に適応 / 手動により充気装置を作動させることのできる人に適応）。
- ・手動作動策（引手）を引く為の力が不足し膨脹作動させることのできない人は、着用しないでください。
- ・刺繍などにより、気室を傷つけないでください。（救命衣が膨脹しません。）
- ・気室を傷つける恐れがありますので、購入した後、勝手に改造、修理を絶対にしないでください（アイロンプリント、刺繍、ワッペンなどの縫い付けなど）。
- ・気室からガス充気装置を取り外さないでください。充気装置取り付け用袋ナットを取り外したり、増締めはしないでください。充気装置を損傷する恐れがあります。
- ・着水膨脹後、自力での調整が必要です。安定した浮遊姿勢を得るために、浮遊中において浮遊姿勢の修正を必要とします。調整、修正が不可能な場合には使用しないでください。
- ・必ず、この取扱説明書に従って正しく使用してください。



警告

- ・この製品は小型船舶用救命胴衣（膨脹式）です。小型船舶でご使用になる場合には、小型船舶安全規則に従ってご使用ください。
- ・この製品が正常に機能するためには、所有者によるメンテナンスが必要です。
- ・使用前には必ず「P.10 自主点検チェックリスト」を確認して、点検を行ってから使用してください。自主点検で異常や損傷を発見した時は、そのまま救命衣を使用しないでください。また、最寄の販売店を通じて、1年に1回、必ず定期点検を行ってください（有償）。
- ・所有者以外が着用する場合は、所有者が本取扱説明書の内容について着用者に必ず説明してください。



警告

- ・この製品に防水・撥水・防錆スプレーやグリース等を噴霧しないでください。センサーエレメントに付着すると水感知機能が正常に作動しなくなります。
- ・ボビン（スプール）の使用期限が過ぎているものは、新しいボビン（スプール）に交換してください。
- ・着用前に気室を傷つける恐れのある物（ブローチ・ペン・安全ピン等）は衣服から取り外してください。気室を傷つけ使用できなくなる恐れがあります。
- ・着用前には補助送気管のキャップが閉まっていること、逆止弁のパネが動くことを必ず確認してください（P.6 補助送気管による排気方法を参照）。膨脹時にガスが漏れる恐れがあり危険です。
- ・使用前にバックルなどの部品が壊れていないか、ベルトや本体が破れていないか、縫製部がほつていないかを確認してください。破れやほつれが見つかった場合は、新しいものに交換してください。
- ・この製品は衣服等の一番上に着用してください。
- 衣服または雨衣の下に着用しますと、水の侵入が遅くなり、ガス充気装置が作動しない恐れがあります。また、救命胴衣の上に服を着用すると、気室の膨脹を妨げ、正常な状態で膨脹しません。
- ・この救命胴衣は、落水時に水を感じることにより気室が膨脹する水感知機能付きとなっておりますが、当該機能はあくまで補助的なものです。このため、海上に脱出する場合や、万一、落水された場合は、手動用動作索を引いて手動で膨脹作動させてください。
- ・手動用動作索は必ず救命胴衣の外に出して、着用時に手で引くことができる位置にあることを確認してください。外に出ていないと、手動で膨脹させたいとき、手動用動作索が引けず、膨脹させることができません。
- ・磯場など摩擦の激しい場所での使用は避けてください。岩場や磯場で使用されますと、気室を傷つけ膨脹しない恐れがあります。
- ・膨脹した状態で飛び込むときは、着用したままこの製品を抱えるようにして飛び込んでください。
- ・水中では気室を破損させる恐れのある浮遊物に近づかないでください。
- ・使用後は、気室内の空気を完全に抜いてください。気室に空気が残っていると再び膨脹させた時に空気が高くなり気室が破損する恐れがあります。
- ・この製品は火気に近づけないでください。火気を近づけると気室に穴があき、救命胴衣が膨脹しません。
- ・この製品は絶対に改造しないでください。小型船舶用救命胴衣としての機能を失う恐れがあり、また国土交通省型式承認品として認められなくなります。
- ・救命胴衣の着用によって水難事故や水中転落時の生存率が高くなりますが、生存率 100% 保証するものではありません。悪天候時、又は悪天候が予想される時にはできるだけ早く寄港または上陸してください。
- ・万が一の水難事故に備えて救助されるための通信手段の確保を心がけてください。
- ・レールシステムのレール（ベルト）にはプライヤー、フィッシュグリップなどの装備品を装着しないでください。



注意

- ・この製品を小型船舶用救命胴衣(膨脹式)以外の用途に使用しないでください。
- ・ご自身の体にぴったり合うように、ウエストのベルトを調節してください。（着用方法参照）
- ・0℃以下の環境下では、膨脹時に気室の圧力が低くなるので、補助送気管から息を吹き込んでください。
- ・時間的に余裕がある場合は、救命衣を膨脹させた状態で水中に飛び込んでください。船が沈み始めて脱出する場合等において、救命衣を手動で膨脹させることのできる時間的余裕がある場合は、水中に飛び込む前に救命衣を手動で膨脹させてください。
- ・着用により皮膚に異常が発生した場合は、ご使用を中止してください。

注意

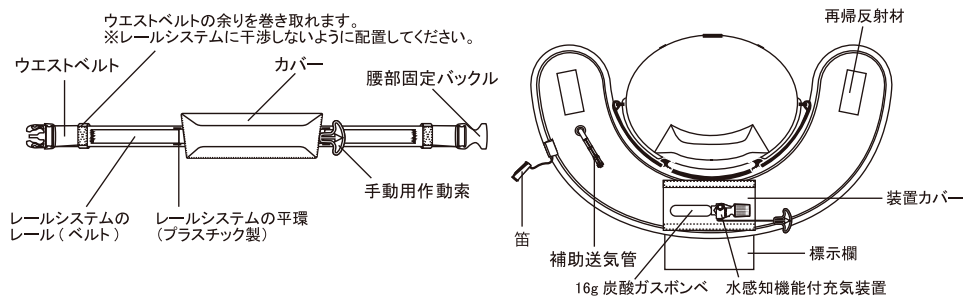
- ・気室は正しく収納し、吊り下げて保管してください。小さく折り曲げたり、上に物を置かないでください。
- ・直射日光のあたる場所や高温多湿の場所で保管しないでください。劣化の原因となります。湿度の高い場所に長時間保管すると、センサーエレメントが水分を蓄積し、誤作動（水感知）する可能性があります。
- ・燃料、オイル、溶剤、酸剤に近づけないでください。
- ・雨や、波しぶきなどが自動膨脹装置に付着すると、水分に反応し膨脹します。

- 免責事項 -

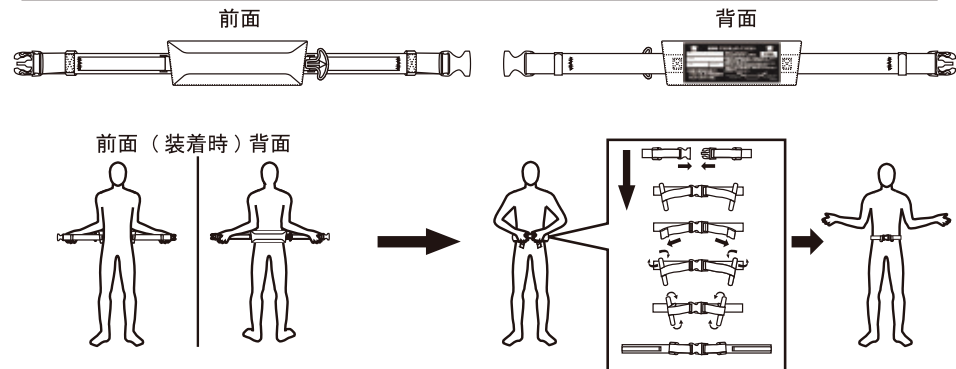
本製品は国土交通省の定める小型船舶用救命胴衣（膨脹式）の型式承認試験に合格し、製造にも万全を期しておりますが、製造上重大な過失がある場合を除き、本製品の使用中に起きた事故についての責任を負うことはできません。予めご了承ください。

2. 商品の概要と構造

この製品は国土交通省型式承認 小型船舶用救命胴衣（膨脹式）です。気室に炭酸ガス又は空気を充気することで膨脹し、頭部を水面上に浮かせるものです。手動用動作索を引く又は、水を感じする又は、補助送気管から息を吹き込むことで膨脹します。気室が完全に膨脹した時の浮力は、7.5Kg 以上 /24 時間 です。使用者の条件は、ウエスト回り寸法 70 ～ 100cm で、手動によりガス充填装置を作動させることのできる成人です。補助機能として、水感知機能による自動作動機能も備えていますが、手動用動作索の引手を引いて作動させる手動作動を基本としています。



3. 着用方法



① 上下方向を確認し、背中の腰部分にあててください。

※適用サイズ：ウエスト回り寸法 70 ～ 100cm

② バックルを閉じ、体にフィットするようにベルトを締めてください。ベルトの余りを巻き付ける場合は、レールベルトと干渉しない位置で留めてください。



警告

- ・着用前に気室を傷つける恐れのある物（ブローチ・ペン・安全ピン等）は衣服から取り外してください。
- ・使用前にバックルなどの部品が壊れていないか、ベルトや本体が破れていないか、縫製部がほつていないかを確認してください。破れやほつれが見つかった場合は、新しいものに交換してください。
- ・この製品（膨脹式救命胴衣）は、着衣のいちばん外側に着用してください。衣類の下に着用すると膨脹時に気室が胸部及び腹部を圧迫し、呼吸できなくなる恐れがあります。

4. 作動方法

・この製品は、手動 / 水感知 / 呼吸による3つの方法で膨張させることができます。

・手動膨張

救命胴衣の右側に出ている手動用作用索を強く引くことで、炭酸ガスが充填され、膨張します。

・水感知

自動膨張装置のボビン（スプール）が水に反応し作動することで、炭酸ガスボンベから気室に炭酸ガスが充填され自動的に膨張します。万が一作動しない場合には手動膨張させてください。

・呼吸

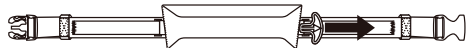
気室に取り付けられている補助送気管に息を吹き込むことで、膨張します。

[手動で膨張させる方法]

手動用作用索を矢印方向に強く引っ張ります。

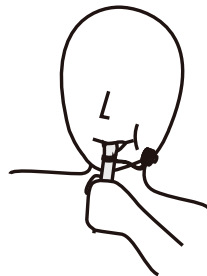
※瞬発的に引っ張るのではなく完全に引き切るような

イメージで、膨張するまでは手動索を引っ張り続けてください。



[呼吸による膨張]

補助送気管に息を吹き込みます。



[水感知による膨張]

ボビン（スプール）が水を感じ取る事により膨張します。

使用前に1回は着用した状態にて呼吸で膨張させて正常に膨らんだ状態を確認する事をおすすめします。



危険

・気室の量み方や落水の条件によっては気室が正常に膨らまない可能性があります。膨張後は気室を正常な位置に誘導して浮遊姿勢を安定させてください。

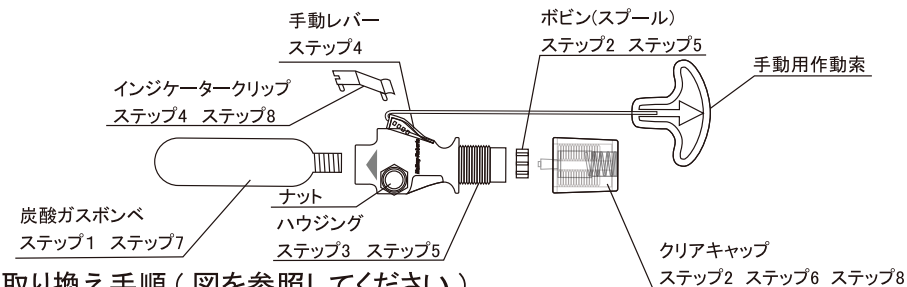


警告

- ・水感知による膨張はあくまでも補助的な膨張機能です。使用時は手動索を引いて確実に膨張させてください。
- ・この製品に防水・撥水・防錆スプレーやグリース等を噴霧しないでください。ボビン（スプール）に付着すると水感知機能が正常に作動しなくなります。
- ・水感知機能が作動しない場合、たとえば浮遊物につかまってボビン（スプール）が水没していない状態、ウェーダーやレインウェア・合羽などが、水とボビン（スプール）の接触を妨げている状態では水感知機能は作動せず、膨張しません。
- ・落水時、万が一水感知機能が働かない場合には、手動用作用索を引き膨張させてください。
- ・一度膨張させると、炭酸ガスボンベ内のガスが無くなります。この場合、最寄の販売店で当製品専用のボンベキット（BP-200U）を購入し、交換してからご使用ください。

5. 炭酸ガスボンベ、ボビン（スプール）の交換方法

ハルキーロバーツ社製 充気装置 V90000 (HR 6F)



取り換え手順（図を参照してください）

ステップ1：使用済みの炭酸ガスボンベを外します。

ステップ2：クリアキャップを外し、ボビン（スプール）を取り外してください。

ステップ3：ハウジングを真水ですすぎ、完全に乾燥させます。

（＊水分が残っていると誤作動の原因になります。）

ステップ4：手動レバーを元の位置に戻し、インジケータークリップを取り付けます。

ステップ5：新しいボビン（スプール）を取り付けます。

白い面が見えるようにしてハウジングの中に入れます。

ハウジングの溝とボビンの溝が正しく合えば、ボビン（スプール）は容易に収まります。

ステップ6：クリアキャップを取り付けます。

ステップ7：新しい炭酸ガスボンベを取り付けます。

ステップ8：クリアキャップ内部が完全に緑色であることと、インジケータークリップが取り付けられていることを確認してください。

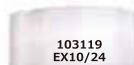
※ボンベキット交換の際には、BP-200U ボンベキットをお使いください。



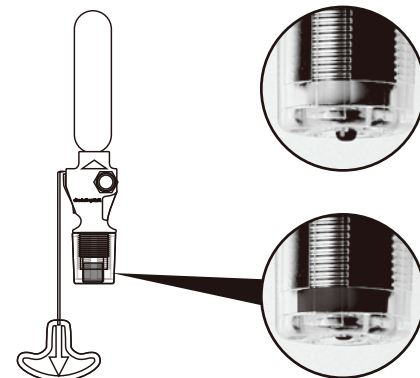
炭酸ガスボンベ、ボビンを挿入した後のクリアキャップは、確実にねじ込んでください。ガス充填装置本体との間に隙間があると、作動してもボンベに穴があかず、気室が膨張しなかったり、ボンベに穴があいても炭酸ガスが漏れて気室が膨張しない恐れがあります。

充気装置インジケータの説明

ハルキーロバーツ社製ボビン（スプール）の使用期限表示例



表示例
EX10/24
使用期限は 2024 年 10 月



6. 補助送気管による充気・排気

この装置は、呼吸により気室を膨張させる時、気室の膨らみが十分でない場合に気室に空気を補充する、または使用後に空気を排気する時に使用します。

〔 充気方法 〕

補助送気管のキャップを外し、送気口から空気を吹き込んでください。使用後はキャップを閉じてください。

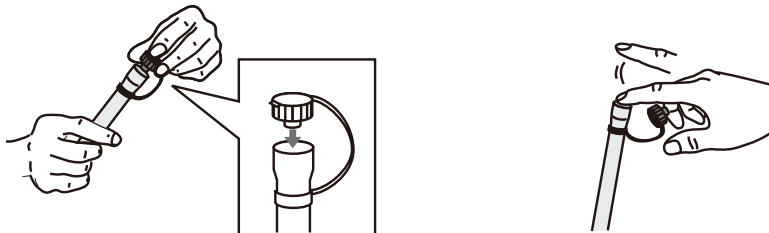


注意

気温や水温の変化により気室の内圧が低下し、膨らみが足りなくなった場合には補助送気管から空気を吹き込み、補充してください。

〔 排気方法 〕

補助送気管のキャップを外し、裏返して差し込んでください。排気後に吹き込み口内の逆止弁を軽く押してバネが動くことを確認してください。



警告

排気後に逆止弁が動かず、下がったままになってしまった場合には、使用を停止し販売店を通じて修理を依頼してください。そのまま使用を続けると、次に膨張させた際に空気が漏れ、救命胴衣として機能しなくなります。



注意

排気する時に、棒やペン等を差し込まないでください。送気管内の弁が破損する恐れがあります。排気する時には必ずキャップの裏側を差し込み、排気してください。

7. 自主点検

着用前に毎回必ずおこなってください。

項目と内容については P.10 の自主点検チェックリストに基づいて実施してください。

8. 保守点検

いつでも完全に機能するようにしておくために、年に1回販売店を通じて定期点検を依頼してください。(有償)

9. 気室の収納方法

山折り

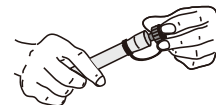
谷折り



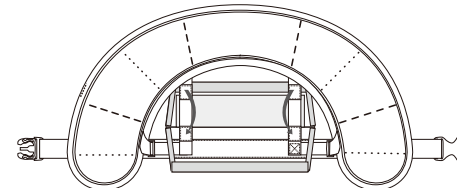
注意

気室を傷付けず正しく収納するために、折り線に従って下の順序で収納してください。収納時には気室内の空気を完全に抜いてからおこなってください。

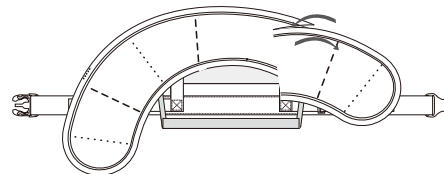
キャップを逆さまに差し込み、気室の空気を抜きます。



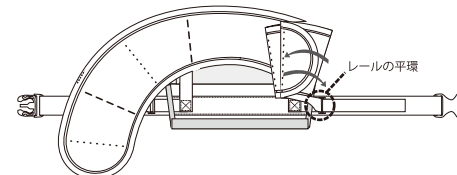
①気室の空気を完全に抜いてイラストのように気室を広げる。ベルト部分の面ファスナーを閉じる。



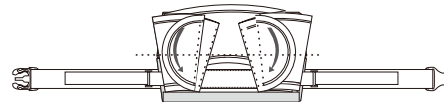
②気室の片側から畳んでいきます。気室にプリントしてある山折り谷折りをしながら中心から順に Z 字に畳んでいきます。この時にレール部分の平環を本体側に寄せておきます。メインベルトをイラストのように真っすぐ配置して作業するとやり易いです。



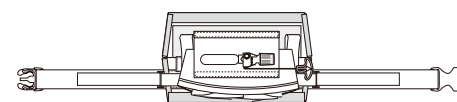
③②で畳んだ部分が広がらないように押えながら残りの端の気室も同じように畳みます。レール部分の平環がイラストの位置まで来ているか確認します。



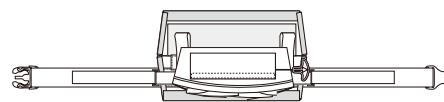
④片側が畳めたら反対側も同じ要領で畳んでイラストの状態まで畳みます。この状態から充気装置を中心として半分に折りたたみます。



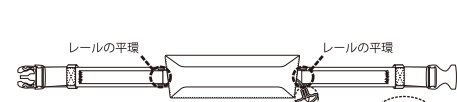
⑤カバーの大きさに畳んだ気室を整えます。最後に充気装置カバーの面ファスナーを閉じます。※手動索をカバーの外側に配置します。



⑥カバーの端の面ファスナーを閉じていきます。※手動索がカバーの外側に出ているか確認してください。※レール部分の平環がカバーの外側に出ているか確認してください。



⑦完成
※手動索がカバーの外側に出ているか確認してください。※レール部分の平環がカバーの外側に出ているか確認してください。※レール部分の平環がねじれていないか再確認してください。



警告

最後にもう一度、手動動作動索が外に出ていることを確認してください。手動動作動索が出ていないと、非常時に手動で膨張させることが困難になります。



手動索

10. 整備要綱

- ・気室やカバーが汚れた場合には、汚れている部分を湿らせた布等で軽くたたいて汚れを移しとってください。決して洗濯機で洗ったり、漂白剤やシンナーで洗淨しないでください。※濡らしてしまうと膨張してしまいます。
- ・陰干して乾燥させてください。ストーブや焚き火にあてないでください。また、アイロンがけやドライヤーでの乾燥もしないでください。
- ・防水・撥水・防錆スプレー、その他グリースや油脂性スプレーを噴霧しないでください。
- ・ボビン（スプール）にこれらの成分が付着すると水感知機能が正常に作動しくなります。
- ・水気が残ったまま保管すると、ボビン（スプール）部分に水が浸入し、誤作動する可能性があります。濡れている場合には乾いた布でラフトエアジャケットに付いた水気を拭き取り、陰干して乾燥させてから保管してください。



気室からガス充気装置を取り外さないでください。充気装置取り付け用袋ナットを取り外したり、増締めはしないでください。充気装置を損傷する恐れがあります。

11. 保管方法

救命衣を保管するときは、下記の事柄に注意して保管してください。

注意

- ・直射日光の当たる場所に保管しないでください。
- ・風通しのよい、乾燥した場所に保管してください。
- ・水や汗に濡れたまま放置や水滴のかかる場所、蒸気のかかる場所に保管しないでください。
- ・暖房装置の近くなど、高温になる場所に保管しないでください。
- ・ねずみ等の害が予想される場所に保管しないでください。
- ・長期間保管するときは、ハンガーに掛けて保管してください。

12. 製品の買換え・修理 / 交換の目安

以下の場合には、使用を中止して、製品を買換えるか、修理 / 部品の交換を依頼してください。

- ・気室に傷が見つかったとき
- ・充気装置が破損しているとき
- ・補助送気管が折れたり破損しているとき
- ・カバーが破損しているとき
- ・ポンベに、傷、打痕、さび、変形があるとき
- ・ボビン（スプール）の使用期限を過ぎているとき
- ・気室が変色しているとき
- ・ベルトが破損しているとき
- ・バックルが破損しているとき



炭酸ガスポンベの破棄方法

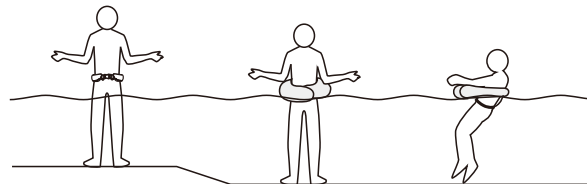
使用済みのガスポンベ（膨張させて、穴があき、内部のガスが抜けているもの）は通常の「不燃ゴミ」として捨ててください。なお、未使用のポンベは、そのまま捨てたり、他のゴミと一緒に廃棄すると爆発等の原因になるおそれがあります。未使用のポンベはそのままゴミとして廃棄せず、株式会社シマノの営業所、またはお買い上げの販売店にご持参ください。弊社にて安全に廃棄処分いたします。

13. 救命胴衣について

当製品は、国土交通省の型式承認を取得した、「小型船舶用救命胴衣(TYPEA)」です。小型船舶の全ての航行区域での使用が可能です。また、法定備品として認められます。小型船舶とは、総トン数20トン未満の船舶の事をいいます。小型船舶の乗船中は、思わぬ転落事故に備え、あらかじめ救命胴衣を身に着けておくことが大切です。小型船舶の船長は、乗船客に対して救命胴衣を着用させる義務や着用するよう努める事が求められます。万が一の転落に備え、自動車のシートベルトのように、船舶に乗船すると同時に救命胴衣を着用することが重要です。

〔救命胴衣のテストについて〕

実際に1度は、室内やプールなどの足の着く浅くて穏やかな水中に入り、浮遊状態をテストすることをおすすめします。



（ポンベを使ったテスト方法）

1. ポンベ・ボビン（スプール）が正常に取り付けられた膨張式救命胴衣と、お客様がお持ちの膨張式救命胴衣に適したポンベキット（BP-200U）を用意してください。
2. 膨張式救命胴衣を正しく着用してください。
3. 水感知機能付の救命胴衣の場合は、救命胴衣が完全に水没するように水に入り、確実に膨張することを確認してください。
4. リラックスした状態で浮いてみて、口が水面から出て、姿勢が後ろに傾くことを確認してください。
5. テストが終わったら水から出て、次に使う時の為に、ポンベキットを交換します。使用済みの炭酸ガスポンベを外し、補助送気管から完全に空気を抜いてください。
6. 膨張式救命胴衣・充気装置を完全に乾かし、P.5の交換方法に従ってポンベキットを交換してください。

（補助送気管を使ったテスト方法）

1. 水中に入る前に、ポンベ・ボビン（スプール）を充気装置から取り外します。
2. 膨張式救命胴衣を正しく着用してください。
3. カバーを開き気室を取り出し、補助送気管から空気を吹き込み、膨張させてください。
4. リラックスした状態で浮いてみて、口が水面から出て、姿勢が後ろに傾くことを確認してください。
5. テストが終わったら水から出て、次に使う時の為に、補助送気管から完全に空気を抜いてください。
6. 膨張式救命胴衣・充気装置を完全に乾かし、5ページの交換方法に従ってポンベとボビン（スプール）を取り付けてください。



テストが終わったら、ポンベキットの交換方法に従ってポンベキットを交換してください。必ず誰かがサポートし、必ず足が着く安全な場所でテストしてください。

14.自主点検チェックリスト

必ず下表の点検チェックリストで点検してから製品をご使用ください。

部 位	点検項目	内 容	チェック欄
カバー	目視検査	生地・縫製部等に損傷・劣化等無き事	
ベルト	目視検査	生地・縫製部に損傷・劣化等無き事	
バックル	目視検査	損傷・劣化等無き事	
気室生地	目視検査	溶着剥れ・損傷・劣化等無き事	半年 1 回
	漏洩試験	補助送気管より口で気室を完全に膨らませて24時間放置し、圧力が減っていない事	半年 1 回
充気装置	目視検査	手動作用動素が正しい位置にある事	
		インジケーターが緑色である事	
		締め付けナットが緩んでいない事	
		ボビン（スプール）の使用期限が切れていない事	
		ボンベ取り付け部、内部のリングに劣化、損傷、紛失がない事	ボンベ 交換時
炭酸ガス ボンベ	目視検査	割れ等の破損のない事	
		ボンベの封板に穴が開いていない事	
		ボンベの取り付けに緩み無き事	
補助送気管	目視検査	錆・損傷等無き事	
		劣化・損傷・ひび割れ・緩み等無き事	
	機能検査	キャップが取り付けられている事	
		口で送気して正常に作動する事。 （点検後は必ず気室内の空気を抜く事）	
ホイッスル	機能検査	逆止弁が正常に作動する事	
ホイスル	機能検査	音が出て、紐で固定されている事	
再帰反射材	目視検査	音がでて、紐で固定されている事	
	目視検査	剥れ・劣化等無き事	



警告

・この製品が正常に機能するためには、所有者によるメンテナンスが必要です。使用前に必ず、自主点検チェックリストを確認のうえ、メンテナンスを実施してください。
救命衣を安全にご使用いただくために、最寄の販売店を通じて、1年に1回、必ず定期点検を行ってください（有償）。

保証書

持込修理

【保証規定】

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、下記記載内容で無料修理をお約束するものです。保証期間経過後の修理などについて、ご不明の場合は、販売店にお問い合わせ下さい。保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書にしたがった正常な使用状態で故障した場合には、本記載内容にもとづき無料修理いたします。お買い上げ日から保証期間内に故障した場合は、①製品②本証明書③日付の記載があるレシートや納品書などの購入証明書の3点をお持ちいただきお買い上げ販売店、もしくはお近くのシマノ製品取扱い店に修理をご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
(イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ) お買い上げ後の落下、輸送などによる故障または損傷。
(ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変などによる故障または損傷。
(ニ) ①対象製品②本証明書③日付の記載がある購入証明書の3点が揃わない場合
(ホ) ボンベ等の消耗品は有料修理となります。
- この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- この製品は持込修理に限らせていただきます。出張修理はいたしません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

品 番



VF-053U

(TK-9320RS 型)

保証期間 お買い上げ日から1年間

販
売
店

株式会社 シマノ

本社：大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

☎ 0120-861130

<http://www.shimano.com>

製造元 高階救命器具株式会社